

生協の現況 2016.8.1現在	
組合員	33,533人
出資金	15億6,122万円
一人平均	46,558円

2016年度増加	
組合員	391人
出資金	4,315万円



一人は万人のために万人は一人のために

2016年
(9月号)
第445号

東京ほくと医療生活協同組合
住所 114-0003 北区豊島3-4-15
発行 「東京ほくと」編集委員会
☎03 (3913) 9100
Home Page : http://www.t-hokuto.coop/

医療の「お仕事」を体験

夏休み 病院・診療所のこども企画

楽しみながらしっかりと学習も

夏休みは子どもにとって学校以外で学ぶとてもいい機会です。病院や診療所で毎年、「医療」について触れる、工夫を凝らした企画が行われています。

聴診器でおたがいの胸の音を聞いた

王子生協病院

8月6日、今年、「学び」を重視し、「体験」という新しい形で行うことになりました。参加者は14人で、密度の高い時間を過ごすことができました。趣向を凝らし、楽しみながら、しっ

かり学べる環境を作りました。車イスや杖歩行体験、人の骨のレントゲン写真のパズル、超音波を使ってゼリーの中身や季節の野菜などを当てるクイズを行いました。ラムネなどをつくった「元気の出る薬」は、他の企画で怖がっていた子どもも喜んで参加していました。白衣を着て包帯巻き



車イスに乗ってみました



この骨は、どの部分？

や、聴診器を使いお互いの胸の音も聞きました。

「楽しかった」という子どもたちの感想と、お母さんからは、「苦手なお薬が飲めるようになるかも」という意見や、6年生からは、「医療に興味を持った」といった意見も聞けました。(医事課・高宮 翼)

薬袋のラムネやグミをおみやげに

生協浮間診療所

7月30日、白衣に着替え

「何が入っているか当ててみよう、魚のレントゲン写真を撮ると何が写るかな？」など、楽しんで参加できることに重点を置いた企画にしました。

2つ目の体験は、「レントゲンってどんな検査？」各自が持参したものをレントゲンで撮影、フィルムができあがるまで、こどもたち、スタッフもワクワクしました。参加の記念品として、ひまわり薬局に協力していただき作成した、一包化したラムネとグミを薬袋



にいられて、修了証と一緒に渡しました。(看護師長・小串路恵)

将来の医師・看護師めざしてほしい

汐入診療所

7月30日、参加者は子ども19人、大人7人。大人は

オリンピックに湧いた暑い夏、自宅近くで北区の「平和のための戦争展」のポスターを貼っていると声をかけられた。内容を説明し4月13日の空襲で火の中を一家で逃げまどい、かろうじて助かったことから、戦争は絶対反対、憲法は死守するなど、日頃、祝祭日には日の丸掲揚を欠かさぬ人の口から出た言葉にびっくり。そこからアベ政治批判になり、何故支持率が下がらないのか不思議だねとなって立ち話は終わった▼たしかに新聞等の世論調査によっても、アベノミクスの評価も低く、安保法制についての理解も8割の人が進んだとは思っていないのだ。日本人は変化を嫌うからだという人がいる。しかし今の安定(?)の中に快さを覚えている人がそんなにいるだろうか▼実は大きく変化してきていることに目をむけようというだけではないのか。安保法制によって戦争に巻き込まれる危険が高まっていると答える人が6割もいるという。これは何を意味するのだろうか▼リオの熱は早くも東京に向けられている。全国の大争・短大の多くは、大会組織委員会と連携協定を結ばれているという。特定の雰囲気を作り出す役割を担わされることが私には敏感になる必要がある。それは戦争とは無縁でないことを経験者は知っている。(今)



小さな医師、看護師がいっぱい

貴重な体験を夏休みの自由研究に
北足立生協診療所

8月4日、小学1〜3年生を対象に11人が参加しました。

スタッフの引率の下、「お医者さんの仕事」「薬局の仕事」「レントゲンの仕事」の3つに分かれて順番に回っていきました。注射器を使っての狙う注射器水鉄砲、薬局ではラムネやジュースを薬に見立てた疑似処方、レントゲンでは中身を隠した箱の中には

「夏休みの自由研究にします」「診療所の普段見られない所を見ることができて良かった」など、好評でした。(事務長・友吉貴子)



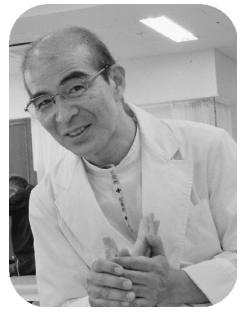
スタッフもあわせて記念に！

「将来、参加した子どもたちの中からお医者さんや看護師を目指す子がいたらなあ」と期待しました。(看護師長・鈴木良恵)

王子生協病院は「無料低額診療」事業を行っています
医療費でお困りの方はご相談ください
☎ 3912-2201

理事会だより 8月20日

理事長あいさつ
大山美宏



「一人ひとりが大切」のメッセージ

天候が変わりやすく、大変蒸し暑い中、苦勞さまでS.M.A.Pの解散が発表になりました。私は一人ひとりのメンバーは知らないのですが、「世界に一つだけの花」を歌いあげたこと、それだけでS.M.A.Pを評価しています。この歌は「花屋の店先に並んだ」で始まり「NO1にならなくてもいい、もともと特別なONLY1」で終わります。が、イラク戦争反対の時に反戦歌として歌われました。一つひとつの国にそれぞれ主権があり、かけがえない存在であるのだというところでイラク侵略に反対

ナガサキの被爆と核兵器のこと、加害としての戦争のことを考えさせられます。オバマ大統領は広島で原爆投下を謝罪せず、抽象的次元の話としてしまいました。71年前のヒロシマ、ナガサキの原爆投下に對し、当時のアメリカに戦争終結とは関係なく、非人道的と考えた人々がいたことが、オリバー・ストーン映画監督の「もうひとつのアメリカ史」という本に記載されておりました。

今、核兵器は「非人道的兵器」という世論と、「核抑止論」が真っ向から対立しております。私たちは「被爆者の呼びかけた核兵器廃絶署名」で「核抑止論」を圧倒しなければなりません。真実が明らかになるにつけ、米国の世論も非人道的兵器となると思います。それにつけても、オバマ大統領の核兵器先制不使用宣言に安倍首相が反対、核兵器の先制使用を容認するとは、言語道断です。

例をあげれば、トルーマン大統領付き参謀総長であり、統合参謀本部の議長であったリーヒ提督は「キリスト教的倫理に基づくあらゆる道徳律や戦争をめぐるあらゆる規律」に反する兵器としてみなしてまいりました。「日本はすでに敗北しており、降伏する用意ができていた。広島と長崎に野

する意味となったのです。個人レベルでは、憲法13条の個人の尊厳となります。これは相模原の身障者の施設における優生思想を背景として身障者が殺されたと理解してもいい事件ですが、それと正反対の思想です。一人ひとりが大切、かけがえない存在というメッセージですので反優生思想といってもいい歌です。

同じくSで始まる、SEALDSが8月15日に解散しました。5月3日の憲法記念日に生まれ、8月15日の日本軍国主義の敗北の日に解散したわけです。個人の尊厳を大切に、一人ひとりが民主主義を考え、政治との関わりを考える問題提起をしていただけたと思います。「民主主義ってなんだ、これだ」という声に改めて憲法の立憲主義を学ばせていただきました。

アメリカに「原爆投下は非人道的」の考え

8月と云えばヒロシマ、

8月15日、戦没者追悼式典が行われ、天皇が「深い反省」を述べたのに対して、安倍首相は反省を述べず、「戦争の惨禍を決して繰り返さない」と。しかし憲法前文にある「政府の行為によって」という文言は巧妙にはずしています。まさに政府の行為によって戦争への道が開かれようとしているわけで、これから始まる臨時国会で、憲法改悪のたくらみを国会包囲の運動をしながら、やめさせていかなければなりません。

戦争への道は決して開かない

8月15日、戦没者追悼式典が行われ、天皇が「深い反省」を述べたのに対して、安倍首相は反省を述べず、「戦争の惨禍を決して繰り返さない」と。しかし憲法前文にある「政府の行為によって」という文言は巧妙にはずしています。まさに政府の行為によって戦争への道が開かれようとしているわけで、これから始まる臨時国会で、憲法改悪のたくらみを国会包囲の運動をしながら、やめさせていかなければなりません。

「東京ほくと医療生協65年のあゆみ」紹介 いのちつなぐ活動を残す

編纂委員 松本洋子(元東京ほくと福祉事業部長)



「65年のあゆみ」の編纂に関わらしていただき、冊子が出来上がった時には歴史に残る集大成、宝物になると実感しました。医療連や生協の会議などで、他法人や事業所の〇年誌を拜見するたびに、東京ほくとには、歴史的にまとまったものや「かたち」として残されていないことが気になっていました。この度、やっと念願がかなったという思いです。

65年の長い年月がよく一冊になったものだと感じました。早速、読んでいただいた方からは、「65年誌よくまとめたね」、「やっと発刊できたね、読み応えがあるし歴史の勉強になる」などさまざまな声をいただきました。

私が入職してから、法人合併が3回あり、短い期間の中の激動の時代だったと走馬灯のように思い起こしてくる一冊でもありません。私たちの「めざす看護・介護」と確認し合いながら仲間と取り組めたことが知となり財産になりました。いつの時代も地域に密

医療と介護の現場

人と人を結びつける 人と人を結びつける



「介護保険に俺の生活をば、すぐに対応できるように変えさせないぞ」と介護サービスを利用する日、Hさん(70代、男性)はそう言いました。1人暮らしで肝硬変を発症し、入退院を繰り返して、体重は20キロ減り体力も落ちていました。病棟をふらつきながら歩いている姿が印象的でした。Hさんがこれまで1人でやってきたことや、これからは何とか自分の力でやっていきたいんだという気持ちを大事に、最低限、必要な支援体制はつくりつつ、Hさん自身が必要だと思えば、街に買い物へ行くことでも、Hさんは肉を食べ続け、救急搬送される数日前には、大好物のチキンを買い

ました。体調が悪化する中でも、Hさんは肉を食べ続け、救急搬送される数日前には、大好物のチキンを買い、地域ケアセンターはけたケアマネジャー・堀さや子

〈組合員の資格および脱退・減資について〉

※東京都に住所または勤務地を有する方は組合員となれます(定款第6条)。転居やお亡くなりになられた場合はご連絡ください。
※当医療生協からの脱退・減資につきましては、定款第10条(自由脱退)および第17条(出資口数の減少)によって、事業年度末の90日前(12月31日)までにご連絡をいただき、年度末(3月31日)に処理させていただきますことが基本となっております。お困りの事があれがお気軽にご相談ください。
東京ほくと医療生活協同組合 本部組織部 TEL: 03-3913-9100

王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいております。

《理事会議事録要旨》
報告事項
①7月組織活動報告・組合員加入121人、出資金増資1,398万円、増資者1967人、新班2班、班会開催98回、2項組合員2人。夏期増資行動29支部で197人参加832軒訪問、404万円の増資協力。転ばん塾8回のべ94人参加。健康チャレンジ1000人目標。ピースアクションinヒロシマ参加報告。募金集約状況報告。7/23サロンめぐり19人参加。②7月決算報告。③王子生協病院、診療所群、訪問看護ステーション、福祉事業部の報告。④医療福祉生協連、民医連関係について報告。⑤第1回監事会報告。
決議事項
①王子生協病院の超音波診断装置(ポータブルエコー)購入。②王子生協病院で特別化学物質障害防止健診実施。③王子生協病院の電子カルテ更新及び更新に伴う関連機器の導入。以上確認した。

みんなで体操します



認知症カフェ

王子生協病院

最近よく聞かれるようになった「認知症(オレンジ)カフェ」という言葉ですが、なじみのない方もいらっしゃるかもしれません。これは、厚生労働省が掲げた「認知症施策推進総合戦略(通称オレンジプラン)」の中で認知症の介護者の負担軽減策として出されたものです。街中のカフェとは違い、主に高齢者あしんせんセンターが企画・主催しているのが特徴です。最近では診療所などでも開

は王子生協病院に通院している認知症の方とご家族、認知症が気になる方にもご参加いただけるよう、外来にポスターを掲示しています。スタッフは看護師・リハビリ・ケースワーカー・薬剤師・事務で行っており、ボランティアの方も

加わるようになりました。カフェは2時間で、あいさつから始まりお茶やお菓子など食べながら30分ほどの学習会(認知症について、介護保険や薬の話)を行い、その後患者さんは体操やカラオケ・散歩・風船

知症の話をする「やっぱり自分は認知症なんだな」と話され真剣に話を聞かれています。ご家族も普段周りに相談できない悩みや、ご自身の体のことなどを話され、ご家族様同士で話し合う場面も多くあります。

方々が手作りの名札を作成してくれ、季節を感じるいい機会となっています。また、今回のアイデアも出してくれ大変心強いと感じています。外来通院時や入院中には見られない患者さんの姿を見ることができ、スタッフも逆に笑顔や元気をもらっています。今後とも活動を続けていきたいと思っています。

第1週は「生活習慣と予防」と題して病気の話を野島未穂医師に聞きましう、健康チェックで血圧・体脂肪・便潜血チェックなどを廣川和恵看護師長のもと練習しました。第3週は「健康を育む食生活」1日に必要なカロリーの計算の仕方や塩分を摂りすぎない食事の工夫などを生島まほろ管理栄養士の講義。第

4週は「お口の健康と歯の話」虫歯や歯周病菌はさまざまな病気の原因になるなど本橋香里歯科衛生士による講義。第5週は「歩行寿命をのばして元気な生活」自分の心拍数を知ることから始まり、ストレッチやウォーキングの呼吸法など杉浦涼太理学療法士の指導のもと実習しました。第6週は「AEDの実習」です。最近街中でもよく見られるAEDを井口正香看護師の指導で体験しました。人形相手に気迫のこもった熱演実習ぶりであったという間の2時間でした。

アンケートには「知っていることは確認になり、初めて学んだことも多くありました」「運動はみんなで行ったのでわかりやすかった。食事にも気を付けて野菜も意識して食べたい」「AEDは実践的で大変勉強になった」などの感想をいただいています。

(赤羽東支部ニュースより)



スタッフも含めて記念撮影

さくらカフェのとりくみ

催されています。

王子生協病院では2014年2月から「さくらカフェ」を病院内で2カ月に1回開催しています。参加者

悩みや自身のこと打ち明けて

この会で

は、なるべく

医療者からの一方通行の会話にならないよう心掛けています。また、参加を重ねる中で介護保険のサービスを活用したいと話される方もいらっしやう、実際にサービスにつながるケースもありました。

最近ではボランティアの

最近ではボランティアの

健康チャレンジ2016



取り組み期間

2016年10月1日~11月30日

報告書提出締切

2016年12月22日

理事会・健康づくり委員会

いきいき運動コース

週2日以上



- 30分以上の運動を続ける
- ウォーキング、ストレッチ、筋力アップに取り組む

すこしお(減塩)チャレンジコース

週5日以上



- 塩分1日6g未満の食事
- ソルトペーパー、塩分測定器の活用
- カリウムを多く含む野菜、果物を摂る

お口さわやか健康コース

週6日以上



- 1日1回よごれを落とす歯みがき
- あいうべ体操で口元トレーニング
- 定期的にお口の健康チェック

血圧、体重チェックコース

週5日以上



- 定期的に血圧または体重を測定する
- 安静時血圧135/85mmHg未満を保つ

マイチャレンジコース

週▼日以上



- 自分で自由に目標を決めて取り組む
- 例「禁煙に取り組む」「休肝日をつくる」など
- ※チャレンジ内容を具体的に記入しましょう

食欲、運動の秋に向かつて

健康な身体づくりを始めましょう

この間、「荒川ラインウォーキング」「転ばん塾」と健康づくりの企画に多くの方に参加いただきました。そして秋は「健康チャレンジ」です。全国の医療福祉生協で取り組む「チャレンジ2016」に呼応し、

シ10万人運動」に呼応し、生協強化月間の仲間づくりとともに、組合員の3割の1000人を目標に参加を呼びかけていきます。2015年度は772人の方に参加いただきました。昨年チャ

健康づくり委員会では、昨年のとりくみの中からさらに参加していただきやすいよう企画内容や申し込み方法の簡素化、支部集約用紙、チャレンジシートのシンプル化、さわやかお誘いポスター、チラシなどを検討してきました。東京ほくと内の医療機関・事業所にも配布しましたので是非、ご覧ください。

今回のコースに指定してあります「お口さわやか健康コース」では、噛む力、ごっくん力、唾液力の機能を低下させない「あいうべ体操」。そして、「すこしおチャレンジコース」(7月号で紹介)は塩分摂り過ぎに警告を鳴らすもので、はじめてチャレンジする方には非お薦めしたいものです。

6月9日から7月14日まで毎週木曜日に「健康づくり学校」を開催しました。「これから自分の健康を守るには」「加齢による障がいを知っていれば」などの受講のきっかけで9人が参加し、7人が修了しました。

第1週は「生活習慣と予防」と題して病気の話を野島未穂医師に聞きましう、健康チェックで血圧・体脂肪・便潜血チェックなどを廣川和恵看護師長のもと練習しました。第3週は「健康を育む食生活」1日に必要なカロリーの計算の仕方や塩分を摂りすぎない食事の工夫などを生島まほろ管理栄養士の講義。第

4週は「お口の健康と歯の話」虫歯や歯周病菌はさまざまな病気の原因になるなど本橋香里歯科衛生士による講義。第5週は「歩行寿命をのばして元気な生活」自分の心拍数を知ることから始まり、ストレッチやウォーキングの呼吸法など杉浦涼太理学療法士の指導のもと実習しました。第6週は「AEDの実習」です。最近街中でもよく見られるAEDを井口正香看護師の指導で体験しました。人形相手に気迫のこもった熱演実習ぶりであったという間の2時間でした。

健康づくり学校 7人修了 AED実習に 気迫のこもった熱演

〈赤羽東支部〉

アンケートには「知っていることは確認になり、初めて学んだことも多くありました」「運動はみんなで行ったのでわかりやすかった。食事にも気を付けて野菜も意識して食べたい」「AEDは実践的で大変勉強になった」などの感想をいただいています。

(赤羽東支部ニュースより)

8月5〜6日、日本生協連主催の「ピースアクションinヒロシマ」に組合員と職員5人、8月4〜6日に行われた原水爆禁止世界大会に北区の仲間とともに職員7人が参加しました。

71年後の広島に立ち、思う 「平和のバトンを引き継いでいく」



教師と子どもの像

平和を願う活動のバトンを引き継ぐ
赤羽東支部
小林 京子

今回の旅での一番の収穫は、被爆の実相を伝え平和を願う活動が、次世代に確実に受け継がれていると実感できたことです。「ヒロシマ虹のひろは」では、コ



2016ピースアクションinヒロシマ・虹のひろは

原水爆禁止2016世界大会

人はいのちもある限り価値がある
王子生協病院
作業療法士 柳原 滯

広島を歩き、遺物に触れ、被爆された方々の話を聞いて思ったのは、戦争は二度と繰り返してはならないということでした。武力は人を傷つけることを目的に使用されず、私

はそこに、人が傷ついてもいい、人が死んでもいい、というメッセージがあると思います。人はいのちがある限り価値がある、人の営んでいる生活は大事にされて然るもの、と思っています。

私はハビリテーションに携わる仕事をしていて、人や生活を大事にし、価値を信じて、それを具体的な形にして目の前に渡すことが仕事だと思っています。あなたは大事な人です。あなたは自分自身の生活には価値があり、私と伝える仕事だとも思っています。

これからも自分の仕事を通して多くの方々と関わり、自分も人として成長していきたいと思っています。

2日目の、岩国基地調査行動に参加しました。一番感じたことは、知らなかった内容の多さでした。沖縄県の基地問題を新聞でよく見かけるのですが、岩国

回復期リハビリ病棟ってどんな病棟？

王子生協病院
理学療法士 高橋新一

王子生協病院3階にあります「回復期リハビリ病棟」は2013年3月、当病棟のリニューアルオープンにあわせ開設しました。当病棟には様々な機能を果たす病棟がありますが、回復期リハビリ病棟は急性期の治療を終えた患者さんに対し、積極的に機能訓練

回復期リハビリ病棟だよ

病気の発症直後（急性期）はベッドに寝たまま

住みなれた自分の地域で生活を続けられるように



機能訓練を行う高橋さん

能力を最大限に引き出し、住み慣れた自分の地域で住み続けることが出来るようお手伝いする病棟です。

自宅退院を目標に訓練

病気の発症直後（急性期）はベッドに寝たまま



右から田沢きよみ、小林京子、富田早貴、大畑タカさん

世とはいえず年の行動に胸のうちを思うといたたまれない思いでした。当時私もこの少年と同じ10歳でした。

被爆体験を聞き眠れぬ夜過ごす

足立西部第1支部
田沢きよみ

地元の中高生の行動に感動しました。虹のひろはで見た、被爆体験証言者とともに作りあげた当時の絵は、見るものにも充分情景がわかるものでした。「焼き場の少年」のパネル、時

71年後の今、広島にいる私

王子生協病院
理学療法士 森木由衣子

私が印象に残った被爆者の方の話は、「正しい目で見て、正しい耳で聞いて、正しく判断する頭を持って下さい。国はだますことが始めます」という言葉でした。その方は戦前の軍事教育に何も疑問を抱かず、戦争を体験したそうです。改めて振り返ると、少しのことから国民をだまし、戦争に突入していったということです。また、日本では「終戦記念日」と言われていますが、実際は終戦では



岩国基地を調査



北区の仲間とともに原水禁世界大会参加者

なく敗戦ではないでしょうか。今の子どもたちは、日本は戦争に負けたとは思っていない、との話があり、正直愕然としました。たった一文字の違いではありますが、大きな違いです。

平和祈念式典では、8時15分、71年前ここに生活した人々の生活が瞬間して破壊され、かろうじて生き残った方も地獄の苦しみを感じ、今でもその光景や真実を忘れられずにいる方が大勢いらっしゃいます。71年後の広島にいる私も、ここで起きた惨事を思い、黙祷の際には涙がこぼれてしまう瞬間がありました。

もう二度と戦争は起こしてはいけません。核が使用されてはいけません。その思いが強くなった3日間でした。

季節の行事もにぎやかに治療を終えて来る方が多いので他の病棟に比べ活気があり賑やかな雰囲気です。また、訓練だけではなく夏祭り、クリスマス会など季節に合わせた行事、体操、レクリエーションなども積極的に行っており、そ

身が不自由でも住み慣れた地域で生活を続ける事ってすばらしいことだと思います。

回復期リハビリ病棟は患者さんが元気に自宅退院出来るよう、医師の大山美宏先生（理事長）を中心に頑張っています。よろしくお祈りします。

鹿浜診療所

8月4日鹿浜診療所と鹿浜第一支部企画の「みんなが歌って楽しくすごそう」が診療所2階で開催されました。地域のたろこつな



診療所の2階に歌声が響きました

みんなで歌って楽しくすごそう

夏には地域のお祭りが沢山催されます。足立区の花火大会は、首だけで姿が見えませんでした。

8月の末には、荒川遊園前運動場で、10町会合同の盆踊りが催されます。

入所者のみなさんは、なかなか外まで出て行き見学とはいきませんが、それぞれ工夫をして楽しんでられます。スタッフも楽しんで頂きたく工夫を凝らしています。

（施設長・古谷裕昭）

夏はお祭りの季節 工夫こらし楽しく



お祭りの行列をながめました

老人保健施設 ほくとはなみずき

も、生きるエネルギーが満ち足りているように感じられました。1時間ほどはありましたが、「楽しかった」「ありがたう」と楽しひひと時をすごすことができました。皆さんの笑顔に、私たちも心がいやされました。

私は、細やかな心がけが小さな幸せを生むと考えています。そして利用者さんの活気に満ちた笑顔で私たちは力が湧いてきます。レクリエーションの行事はこの盆踊りにとまるとなることな

地域の盆踊りに参加 車いすで輪のなかへ

利用者の方と家族、ボランティアが参加しました。会場は、施設から徒歩5分の緑路の高架下で、会場に到着するとまずは、利用者の方の乾いた喉を潤すために、かき水を準備し、冷たく清々しい気持ちになっていただきました。しばらくすると、やぐらから東京音頭、炭坑節、八木節などの盆踊りに欠かせない馴染みの深い楽曲が流れ、それに合わせて一緒に歌い、手拍子されていました。また、辺りの方が踊っている輪の中に車いすごと入り、手振りと一緒に踊りました。

みなさんいきいきと、黒い瞳からも上気した頬から

健康まつり日程

王子生協病院
10月23日(日) 豊島公園

江北生協診療所
11月3日(文化の日)
江北ふれあい公園

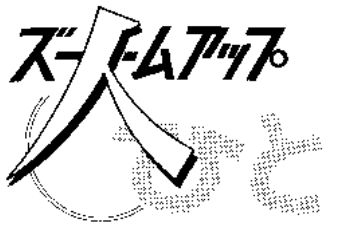
鹿浜診療所
11月5日(土) 診療所前駐車場

生協北診療所と介護施設
11月13日(日) 生協北診療所駐車場

荒川いきいきまつり
11月19日(土) 荒川区役所前公園

赤羽東診療所
11月20日(日) 北区赤羽公園

詳細は追ってチラシを折り込みます
お問い合わせは組織部3913-9100



2007年3月7日、救急車で病院に搬送、クモ膜下出血でした。すばやい対応で一命は取り留めましたが余命半年と告げられました。板橋の長寿医療センターで7時間におよぶ手術のあと、3ヶ月の入院生活、その後王子生協病院に転院、ようやく秋に退院することができました。

退院後すぐに毎日のリハビリが始まりました。お孫

強い信念が生きる力に ネットワークに助けられて

豊島2丁目在住 立川千鶴子さん(83歳)



度4、現在は要支援2だところですが、現在は要支援2です。1年以上たち、デイサービスに行くようになったとき娘さんが看護日誌を見せてくれました。克明に記された日誌を読んで初めて自分の闘病生活がわかったのです。

立川さんは保母さんのお仕事を終り、建設関係の会社に入り総務の仕事に携わりました。定年退職を機に医療生協活動と出会い、活動が始まりました。支部長として支部分割を3回経験。班づくりにも苦心しました。趣味を中心にリーダーを決めて班づくりをし、これを「虹の楽校」と名づけてきました。

お仕事を培われた先を見る目、人へ上手に動かす力、アイデア、フライング力が医療生協活動にも活かされていくのです。このよきな活動を

振り返るととても楽しいものだったと話されました。現在は2階に娘さん家族がお住まいで、1階にお一人暮らしです。ご自身で「乾物屋のネコ」と表現されたように、いろいろなことに興味を持っています。お花がたくさんあり、とりわけ庄巻なのは直径18センチにもなる月下美人。北ケールで放映されたそうです。退職後に始めたさまざまな句集、班会の写真ファイル、絵手紙作品など。活字にすることで形に残すことが大事とおっしゃいます。

波乱万丈の立川さん。強い生きる力が周りの人たちも巻き込み、大病を乗り越えたのだと思います。(聞き手・石原妙子)

将来は女医に」期待の声

夏休みに高校生医師体験

夏休みに「高校生医師体験」を毎年行っています。今年も多くの高校生が訪れました。

まず石川県の城北病院の活動を紹介した「笑って死ぬる病院」のDVDを見て、院内紹介を受け、血圧測定体験をし、実際の診察を見学します。まだまだ死というものには縁遠い高校生たちも終末期ドキュメンタリーであるDVDには目を潤ませていました。



病棟で説明を受ける高校生

自分の腕を借り測定。自分の血圧も初めて測り「組合員さんの血圧と比べ低いけれど大丈夫？ 正常範囲は？」と興味を持って聞いていました。最後に診察室に入って診療見学です。オリンピックの話から何気なく患者さんの生活スタイルを聞き出す様子に「医師にはコミュニケーション能力が大事と初めて実感した。とても勉強になった」と感想を述べてくれました。

今年度の医師体験には女子生徒の参加が多く、組合員さんから「患者さんは女医さんに診てほしい人が多いい。ぜひ女医さんになって王子生協病院に来てね」と声掛けがありました。(組織部・飯塚佐希子)

絵手紙「結」

田結 弘明

長かった夏
ようやく秋



(16)

「断固反対」オスプレイの配備、高江ヘリパット建設、駆けつけ警護、不当解雇、TPP などなど、1日の新聞紙面を締める「握りこぶし」を掲げる記事がなんと多いことか。このごぶしが政治を変えるためにたたかう証。

職員へのお心付けは ご遠慮させていただきます

王子生協病院は「無差別平等の医療」をスローガンにしています。お金がなくともかかれる医療機関でありたい。皆さんの思いも同じだと思えます。もともと医療福祉生協は健康増進を掲げています。

王子生協病院は、「無差別平等の医療」をスローガンにしています。お金がなくともかかれる医療機関でありたい。皆さんの思いも同じだと思えます。もともと医療福祉生協は健康増進を掲げています。

虹の箱

王子生協病院

健康であり続けるために知識を増やし生活を改善し、仲間をつくり、生きがいを持つて暮らすことを目標にしています。もし病気になるたら、自分たちの医療機関がほしい。それが始まりでした。王子生協病院は、この地域に60年以上の歴史をつくり、2011年には念願だった新病院が建設されました。皆さんの出資金を元に建てられています。

患者さんの自己負担を減らす運動もしてきました。老人医療費の無料化、子ども医療費の無料化、公書

医療費の責任者負担などがあります。そして、今また所得の格差が大きくなり、生活や健康に大きな影響を与えています。そこで、全日本民医連の取り組みとして、社会福祉法に基づいた無料低額診療を推進し、当院でも2015年4月より開始しています。

そういう考え方で頑張っている王子生協病院です。職員への励ましのお言葉は大歓迎ですが、お心付けは心よりご遠慮させていただきます。王子生協病院をさらに大きくするために、組合員増やし、増資活動にご協力ください。

(王子生協病院総看護師 長・油座よしや)

◆どこの病院・医院の処方せんでもお受けいたします◆
いつでも気軽に相談できるあなたのまちの薬局です。

あすか薬局	かえで薬局
北区豊島3-5-6 ☎3912-7478	足立区江北1-26-8 ☎3896-6620
すずらん薬局	わかくさ薬局
北区志茂4-14-1 ☎3598-3085	足立区入谷3-1-4 ☎3854-3054
しんでん薬局	あらかわ虹薬局
足立区新田2-12-7 ☎3911-2274	荒川区荒川4-54-4 ☎3803-1005
ひまわり薬局	堀切虹薬局
北区東十条2-6-5 ☎3912-0293	葛飾区堀切7-12-1 ☎3604-9419
ひまわり薬局浮間店	薬剤師募集
北区浮間3-22-5 ☎3558-3081	詳細は3914-0700ひまわり企画まで

通信

(敬称略)

志茂 佐藤晴利(67)
先月、白内障の手術を受
けました。

上十条 小沼まつ江(84)

わたしも 配ってます

友人に誘われ保健学校へ
今は支部運営委員
十条西支部

田口 正子(75歳)

私が「東京ほくと医療生
協」を知ったのは6年前に



社交ダンスの仲間の近藤さ
ん(豊島3丁目)からでし
た。「保健学校があるから
行ってみたい」と誘われま
した。豊島3丁目の会場ま
で通い、全7回の講義を修
了しました。



季節の スナップ

夏の北海道は鮮やかな色があふれている。8月、美瑛の丘で、手前から赤と黄色とその向こうは紫。

◎王子生協病院は、無料低額診療事業にとりくんでいます。

暑さのせいか食欲があま
りありません。

伊興 日本章子

2本のミニトマトから80
個の実がとれました。

豊五 西山ふみ子(66)

健康診断の結果、昨年と
変わらず大丈夫でした。

王子 中澤政子(73)
毎日のオリンピック報道
に寝不足。

南千住 茂垣満里子(80)

医療・老人に冷たく、軍
拡に力入れ、原発再開に悲
しすぎる8月。

町屋 久道和男(69)

もう少しもう少しと暑さ
に耐えています。

東伊興 高橋珠江

8月、父の言葉「戦争に
は正義などない」その言葉
を思い出す日々です。

荒川 関口ツル子(69)

テレビの前でオリンピッ
ク選手の方々へ応援をおく
る毎日です。

志茂 佐藤勝廣(74)

1年前から私は脳出血の
ため身障者になりました。

世の中の多くの身障者の
方々の訴えは自分が体験し
てわかりました。

町屋 為我井雅子

自転車で30分くらい隅田

川に沿って川風が気持ちよ
く、生協王子歯科に通って
います。

中十条 間所貞夫(89)

あと2ヵ月で90歳、手話
の勉強会など未永く努めて
いきたいと思えます。

堀船 大野より子

納涼船に乗って東京湾か
らの夜景を眺めました。

舎人 内田豊子(64)

少々夏バテ気味、酢玉ね
ぎを作って食べています。

豊五 若松典子(45)

故郷のシールが貼られた
スイカは一味違い美味しか
ったです。

荒川 田中早苗(58)

この夏はオリンピック三
昧でした。

岸町 白武立吉

崖から飛び降りる精神で
挑戦、都知事は百合子さん
に決まりました。

豊五 横山きよ(68)

猛暑の夏も終わりです。

王五 若林ふさ子(65)

区民検診の結果でドキド
キしていたのですが、待合
室に知り合いの方がいてホ
ッとなりました。

豊島 茂木恭平(28)

機関紙が届く度に「健診
をちゃんとしなきゃ」「食
生活気をつけなきゃ」と思
います。

医療生協の出番です！あなたの町の班会

王子支部
ザ・ヒストリー班

歴史の題材は
身近なところに

今年度こそは、「生協4
課題」の一つ「班づくり」
の目標2班を達成しようと
支部運営委員会で検討しま
した。運営委員でもあり都
営尾長橋住宅自治会会長の



ちょっとお勉強の班会

渡辺泰庸さんの提案によ
り、ご自身の得意とする歴
史を学ぶ会として、まず1
班「ザ・ヒストリー班」が
誕生しました。11人参加で
6月10日に第1回の班会を
開きました。



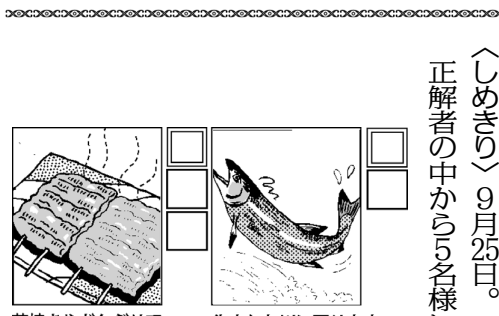
楽しい班会

もちろん講師は渡辺さ
ん、歴史の題材は身近なと
ころどこにでも何でもあり
ます。今回は時代(原始、
古代、中世、近世、現代)
の流れを大雑把に学習しま
した。2回目は、NHKの
大河ドラマの主人公、戦国
最後の武将として後世に名
を残す英雄になった「真田
丸」とその周辺について学
びました。今まで何となく
知っていたことも、班会で
は詳しく解って、物知りな
なり知識人になります。
(理事・川井久子)

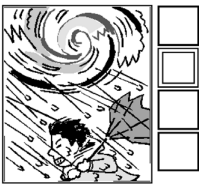
ヘルパーステーション虹
ヘルパー班

みんなで理解し
知識を身につける

ヘルパーステーション虹
では班会を年10回行ってい
ます。より良い援助につな
がる内容とし、ヘルパー全
員で取り組んでいます。
感染症・認知症・職業倫



蒲焼きやどんぶり
臭いが食欲をそそる



トゲで身を守ります
暴風、大雨に気を付けて

第338回 パズル

「ヒント」9月1日はこの
図書券を贈呈します。尚、
ハガキの余白に簡単なお便
りを書いて頂ければ幸いで
す。
お名前、年齢をご紹介し
ますので匿名希望の方はそ
の旨明記下さい。〈抽選対
象外〉
〈前回の答え〉ユウヤケ
島3-7-11東京ほくと医
療生協「機関紙」編集部まで
〈しめきり〉9月25日。
正解者の中から5名様に
子
木恭兵、持田芳江、若松典

豊島 茂木 夢(27)
パズルの答え、ハリケー
ンをタイフーンかと思って
悩みました。
十条仲原 日之西つる
初めてお便り、90歳と5
カ月お見知りおきを。
志茂 神田節子(65)
季節のスナックと絵手紙
ひろばが楽しみです。
志茂 大塚克子(85)
オリンピック、高校野
球、テレビとラジオを通し
て応援の日々です。
豊島 折原のり子(77)
早朝、急に秋の風に気付
いて嬉しいです。
新田 荒川雪江(57)
主人を亡くして8年、介
護を教えてくださいました。
謝しています。
東日暮里 白水廣人(66)
故郷の新潟は緑も花の色
も活き活きしていました。
志茂 竹内敦(63)
久しぶりの台風で川のそ
ばにお住まいの方はだいじ
ようぶでしたか?
王子 井伊幸子(67)
オリンピックに感動。追
い詰められても負けない姿
に何度も涙しました。

